



新春の恒例行事を開催

1月11日(土)古牧公民館集会室において消防長野第6分団主催の「出初式」と住民自治協議会主催の「新年祝賀会」が市議会議員、各種団体長、消防団員、消防団員OB、関係住民自治協議会役員など84名出席のもとに2部形式で開催されました。

第1部の「出初式」では、水内一文長野第六分団長のあいさつの後、長野県消防協会から古牧地区で昨年1年間、消防団が出動する火災がなかったことに対する無火災表彰と長年の消防団員として勤続された団員3名に精進章、精勤章の表彰伝達が行われ、出席者全員で無火災、無災害の祈願として「火の用心」を三唱して式は終了しました。



消防団員は、日頃から本業を持ちながら火災発生時や火災の予防活動を行っております。消防団員として活動してみたい方は、お住いの地区の区長にご連絡下さい。

第2部の「新年祝賀会」は、西澤征防住民自治協議会長のあいさつの後、来賓からのあいさつ、出席者全員で新年を祝いアルコール抜き飲み物で乾杯しました。

その後、西尾張部神楽保存会のみなさんにより新春を祝うお神楽獅子舞が披露されました。



また、新春の奏でとして長野市在住のプロのフルート奏者坂口実優さんによる新春を彩る演奏がありました。自ら作曲した曲、馴染みのある曲など素晴らしいフルートの音色を耳にして出席者の心が和む演奏会となりました。



最後に関係団体が協力のもと、今年一年の古牧地区の繁栄を願い新年祝賀会が閉められました。
(事務局)

ふるさとふれあいタイムズを発行

青少年育成部が中心となって取り組んだ広報誌「ふるさとふれあいタイムズ」(第4号)を1月上旬に発行し、各家庭にお届けしました。

「ふるさとふれあいタイムズ」は、新型コロナウイルス感染症の拡大により交流行事が開催できない中で古牧地区にお住いの皆さまに各地区の世代交流行事を少しでも知っていただくことを目的に創刊されました。

新型コロナウイルス感染症流行時は、さまざまな行事が中止となり、人との交流が激減してしまいました。それにより、今まであたり前にあった日常がどんどん奪われ、いつしかイベントそのものがなくなってしまう状況が続きました。しかし、昨今では未だにコロナウイルス等の根強い感染症もある中ではありますが、工夫をしながら様々なイベントが再開することができるまでになりました。

今年度、予定していた青少年育成部の活動もすべて無事に行うことができ、人との交流

というものは生きていくうえで、とても重要なものだと思いつきながら改めて感じました。行事を通じて、喜び、笑顔、感動を見ることができ幸せな気持ちになりました。

この「ふれあいタイムズ」の発行は今年度で最後になりますが、引き続き、青少年育成部は子どもたちが健全に過ごせるために、人と交流しながら、楽しめるイベントを開催していきますので、是非多くのご参加をお待ちしています。行事開催にあたり、ご協力をいただきました各地区関係者の皆様に心より御礼申し上げます。(青少年育成部)



広報通信員だより 各区の年末年始の風景

北条区

地元神社の初詣



地元の守田廼神社の令和7年の初詣(二年参り)で沢山の人が参拝に見えて大いに賑わいました。

中村区

守田稻荷神社縁起物作り



12月22日(日)に中村公民館で、中村区祭典委員による守田稻荷神社の縁起物作りが行

次頁へつづく

前頁のつづき

われました。守田廻神社の鳥居をくぐると左側に守田稲荷神社があります。この稲荷社で元旦祭におきまして、二年参りに参拝された方々にお守りと縁起物を差し上げております。縁起物は、おかめ笹に稲荷大明神の短冊、モナカの皮のホウショウ、小判、繭玉を取り付け500本作成しました。



川端区

登龍門祈願祭

川端天神社では1月3日(金)、恒例の「登龍門祈願祭」が行われました。今年で31



回を迎え、新入学児3人を含め80人が祈願に訪れました。そのうち43人が合格祈願の受験生です。

上高田区

餅つき体験とお雑煮ふるまい



12月1日(土)上高田公会堂で3世代交流イベント(餅つき体験とお雑煮ふるまい)が開催され、幼児から高齢者まで約190名が参加しました。子ども達は分かれて、大人に教わりながら石臼と杵による餅つきや、お雑煮用の野菜を切ったり、つきあがったお餅を丸める体験をしました。お餅や汁が出来上がってから皆でお雑煮を楽しみました。



西尾張部区

二年参り・元旦祭

八幡神社で祭典委員が中心となり年末年始の祭事が行われました。

12月31日(火)午後11時から旧年の感謝と

次頁へつづく

前頁のつづき

新年への願いを込めた「二年参り」、1月1日（水）午前10時15分から1年間の無事平穏や豊作をお祈りする「元旦祭」が行われました。



寒い夜にもかかわらず星空の下をご夫婦、お子様連れのご家族、友達仲間等約300名の方々にご参拝いただきました。

また、神社幣殿では恒例の神楽保存会による獅子舞奉納が執り行われました。



平林区

新年の飾り・二年参り

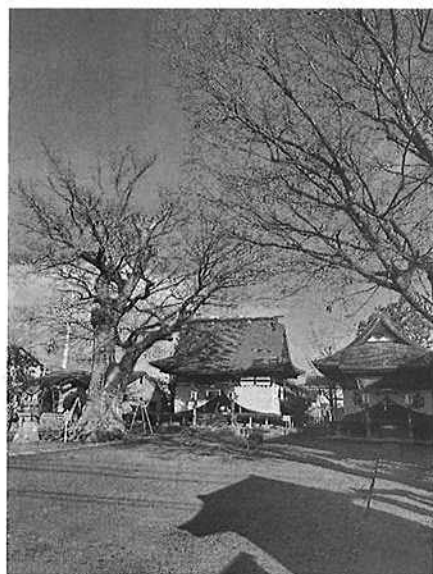
令和7年の安達神社の正月飾りは氏子総代の皆さんの工夫により稀にみる飾りつけでした。中心にある太い注連縄は毎年新しくされますが、本年は氏子総代の皆さんがプロの職人さんのお手伝いをして作り上げたもののだそうです。柱の竹は縄で下から7重、5重、3重と古式にのっとして巻かれています。二年参りには多くの皆さんが参拝に訪れました。



西和田区

元旦祭に向けて

元旦当日、雲に覆われており初日の出を拝む事はできませんでした。冬らしいキリっとした寒さを感じる朝でした。地元の和田神社へ向かう途中から飯縄山が見えます。前日降った雪でしょうか、うっすらと雪化粧しています。和田神社に到着すると参拝されている方はいませんでしたが元旦祭の準備が整っていました。



次頁へつづく

五分一区

餅つき大会

12月1日(日)五分一公民館が主催する恒例の「三世代交流餅つき大会」が五分一公民館で開催されました。寒い中、ちびっ子からお年寄りまでの大勢の皆さんに参加いただきました。初めて重い杵を持ち一生懸命に餅をつくちびっ子、昔とった杵柄で腰が痛いのを我慢するおじいちゃん、全員が笑顔溢れる楽しい餅つき大会となりました。残念ながら今

年もつきたての餅を調理し、参加された皆さんに振る舞うことは出来ませんでしたが、餅屋さんがついた餅を参加者全員にお土産として配られました。



歴史探索

ぐるりおがまち

南長池区

長池神社の狛犬を見た

古牧郷土史研究会 岡 宮 裕

文政10(1827)年、長池神社の社号を賜わってから43年後、明治3(1870)年狛犬が奉獻されました。その後、明治6(1873)年郷社(昭和20年郷社の名は廃止)に列せられ、明治8(1875)年鳥居建替え、明治11(1875)年御柱祭許可、明治18(1885)年社殿全面改築・境内拡張と、この15年間は神社としての風格を保つために役員の方々は村内と他村にも足を運んでご協力を願うなど相当のご苦労があったと推察されます。

狛犬の台座に彫られている寄進者は他では多くが個人ですが、当神社の狛犬は近隣では見られないとても大きく立派で台座に14ヶ村が彫られています。古牧地区内では西尾張部・東和田・西和田、地区外では北長池・太田・北尾張部・中越・北堀・南堀・石渡・小島・中俣・里村山・布野です。どんなご縁があって寄付をされていたのでしょうか。太

田・中越以外の村は南八幡川や北八幡川の水を利用し南長池と同じ用水組合に属する村であったからかもしれません。

世の中の狛犬の姿も様々ありますが、当神社のものは右が阿(口を開け、一角あり、毬を押さえる)、左が吽(口を閉じ、頭上に擬宝珠があり毬を押さえる)で、味のある姿をしています。

古老によれば、昔は郷社であったため御祭儀には古牧地区から子供を含め大勢の参拝者があり大変賑わったとの事です。



左：吽



右：阿

地域たすけあい事業の協力員さん募集！

古牧地区にお住いの高齢者や障がいをお持ちのみなさんが日常生活で困った時に地域のみなさんご協力を得ながら家事援助や外出のお手伝いなどを中心に行う事業です。

多くのみなさんにご利用いただいておりますが、この事業を支えていただく協力員さんを募集します。ボランティア活動になりますが興味のある方はご連絡ください。

“身近な地域で支え合う、思いやりとやさしさをもった地域づくりを一緒にめざしましょう”

☆活動内容は？ ■福祉移送（古牧福祉自動車「あいりん号」の自動車の運転）

- ・自宅から医療機関等への通院などのお手伝い
- ・身体介助は行いません。

■家事援助（身の回りの家事のお手伝い）

- ・ゴミ出し、住居等の掃除、草取りほか
- ・身体介助は行いません。



☆活動時間は？ ■あなたの可能な日・時間帯で調整します。（月数回程度です。）

☆資格は必要？ ■年齢や経験は問いません。ただし、福祉移送については一定の条件、講習を受けていただきます。

☆問い合わせ ■福祉サービスセンター（☎244-5522）です。



福祉移送サービス車両
「あいりん号」

あなたの力強いご支援をお待ちしております！

しゃばえんびつ



毎日の元気の源

私の毎日の日課はメジャーリーグで大活躍を続けているスーパースター大谷翔平選手の活躍を見ることだ。現在は試合がなく早くシーズンが始まらないかと今からワクワクしている。

彼の活躍を見ることで元気の源になっている。これは私だけでなく、日本中、いや世界中で同じように活躍を見て元気をもらっている人々がたくさんいると思う。

彼の魅力はたくさんあるが、やはり彼のホームランが大好きだ。ホームランを見ると気持ちがスカッとする。そして、礼儀正しさ、優しさ、強さ、プレーだけでなく立ち振る舞いすべてが一流だ。同じ日本人として本当に誇らしく思う。彼のずっと目標にしていた「ワールドシリーズ制覇」も達成され、また新たな伝説を刻んでくれることを期待している。

彼の姿を見て無限大の可能性がある子どもたちに野球だけでなく人間性の部分でも最高のお手本になる大谷翔平選手に今後も目が離せない。そして、また新たなスーパースターが生まれることを期待している！！

（伊藤 泰）

2月から3月までの主な行事実施日のお知らせは回覧等でお知らせします。



古牧地区の世帯数と人口

令和7年1月1日現在

11,896 世帯

26,072 人

（男 12,923人 女 13,149人）

■発行所 古牧地区住民自治協議会
（電話259-8359・FAX219-1057）
（E-mail: komaki@vivid.ocn.ne.jp）

■発行者 西澤 征防

■編集 ぷらネットこまき編集委員会

■印刷 ㈱小池印刷



HP
ご覧ください